校訓　「文武不岐」

小青松

大仙市立角間川小学校
令和７年10月７日
学校報　第30号

創立１５０周年　「ま・え・む・き」角小

大仙市教育委員会訪問

10月３日（金）、伊藤教育長、高橋教育委員、小笠原角間川公民館長をはじめ、８名の大仙市教育委員会の皆様が来校しました。全学級の授業を参観後、全体会が行われました。そこで、教育委員会の皆様から参観後の感想や私たち職員のさらなる授業改善についての指導・助言をいただきましたので、その一部を紹介します。

- 話す人の方を見て聞く、聞いて反応するなど、子どもたちの聞く姿勢がしっかりと身に付いている。
- 子どもたちは意欲的に学びに向かっており、自力解決の時間も全員の子どもたちが自分の考えをもとうとがんばっている。
- 子ども同士、教師と子どもなど、たくさんの対話を通して、子どもたちの学びを深めることを意識した授業が全学年でなされていた。
- 1時間の中で子どもたちの表情が変化する瞬間のある「楽しい授業」を今後もつくっていってほしい。
- 子どもたちの自然な姿、地域での姿に目を向け、そのよさを意味付け、価値付けながら、確かな力を身に付けさせていってほしい。

☆角小健児の活躍☆

☆大仙市子ども読書通帳　五百冊賞

5年 ○○　○ さん　4年 ○○○○さん
3年 ○○○○さん　3年 ○○○○さん
3年 ○○○○さん

10月3日、大仙市子ども読書通帳「五百冊賞」の授与式が校長室で行われ、伊藤教育長から賞状が一人ずつに手渡され、お褒めの言葉もいただきました。大仙市教育委員会の皆様に見守られ、5人ともかなり緊張した面持ちでした。「五百冊賞」の次は「千冊賞」で市長表彰となります。新たな目標に向かって、また頑張ってくれることを期待しています。

力を合わせて～サツマイモ掘り～

10月７日（火）、全校でさつまいも掘りを行いました。６月になかよしグループで植えたさつまいもです。大きなさつまいもを楽しみにしていましたが、今年は異例の猛暑と水不足もあり、大収穫とはなりませんでした。それでも子どもたちは、土を少し掘り、さつまいもを見付けると大喜びで掘り進めていました。今年は土が硬く、掘るのが大変で移植ベラが曲がってしまった子もいました。低学年の子には、５・６年生が手伝ってあげていました。さつまいもがとれそうな所まで掘り進め、あとは１年生にバトンタッチという優しい場面も見られ、心が和みました。収穫したさつまいもは、なかよしグループのみんなで分け合いました。分ける際も５・６年生がしっかりとリードし、１年生から順番に選ばせてくれました。子どもたちがかわいらしいさつまいもを持ち帰っています。ご家庭で収穫の様子を話題にしていただけると嬉しいです。

合同バンドでパワーアップ♪

10月２日（木）、本校器楽部と内小友小学校器楽部の第１回目の合同練習が行われました。練習に先駆け、９月にはオンラインで顔合わせ会も行いました。それぞれ５人ずつの部員なので、合わせて10名の合同バンドです。やはり人数が２倍になると、演奏の迫力も増します。一人だったパートが２人になり、思いっきり音を出すことができて心強かったようです。また、互いに大きな刺激にもなり、これからの練習にも、ますます力が入ると思います。

10月18日（土）に秋田市のミルハスで行われる秋田県小学生バンドフェスティバルに向けてこの後も２回の合同練習を予定しています。ミルハスの大舞台での演奏、とても楽しみです。